

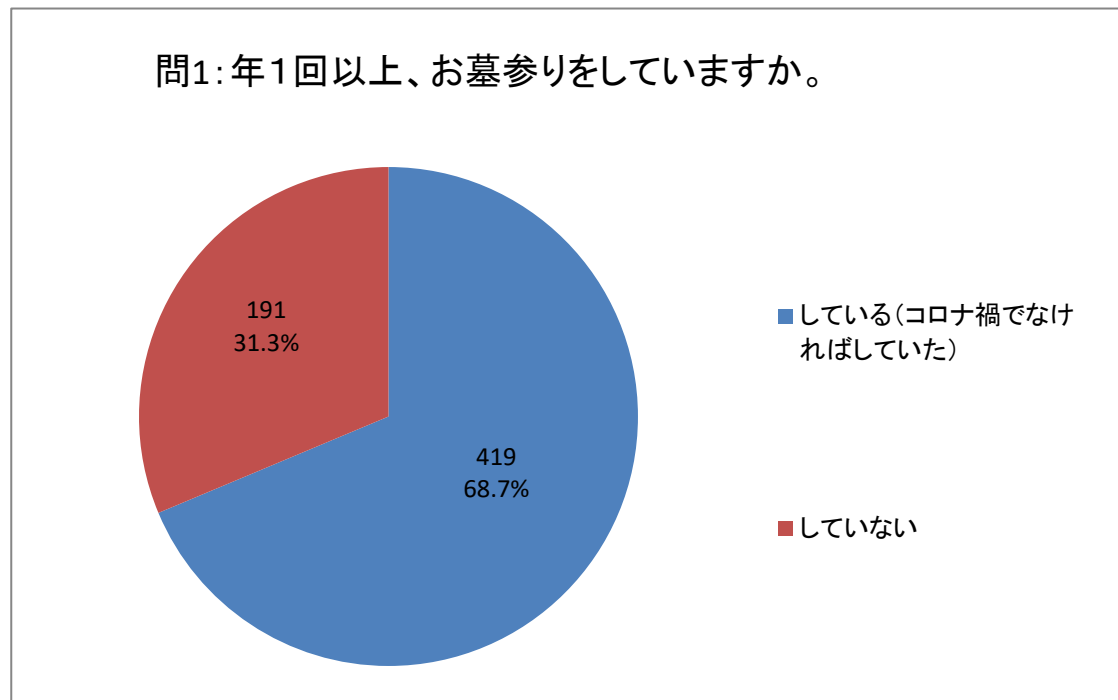
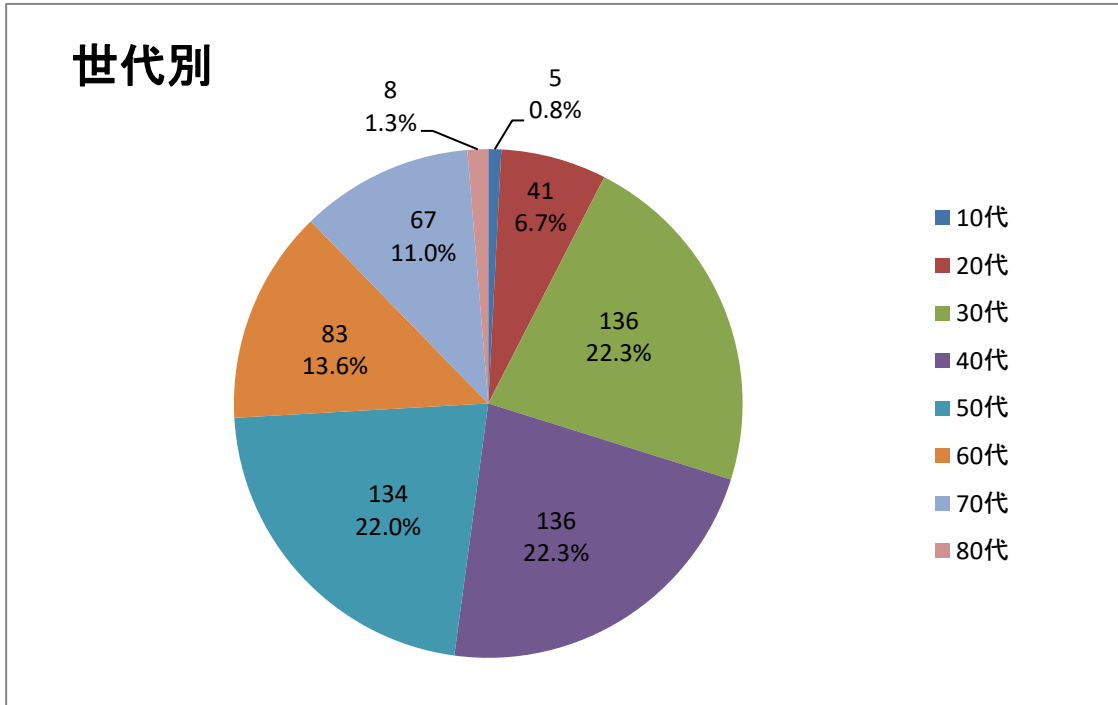
第2回eモニターアンケート 「墓地利用意向等について」

実施期間
回答数

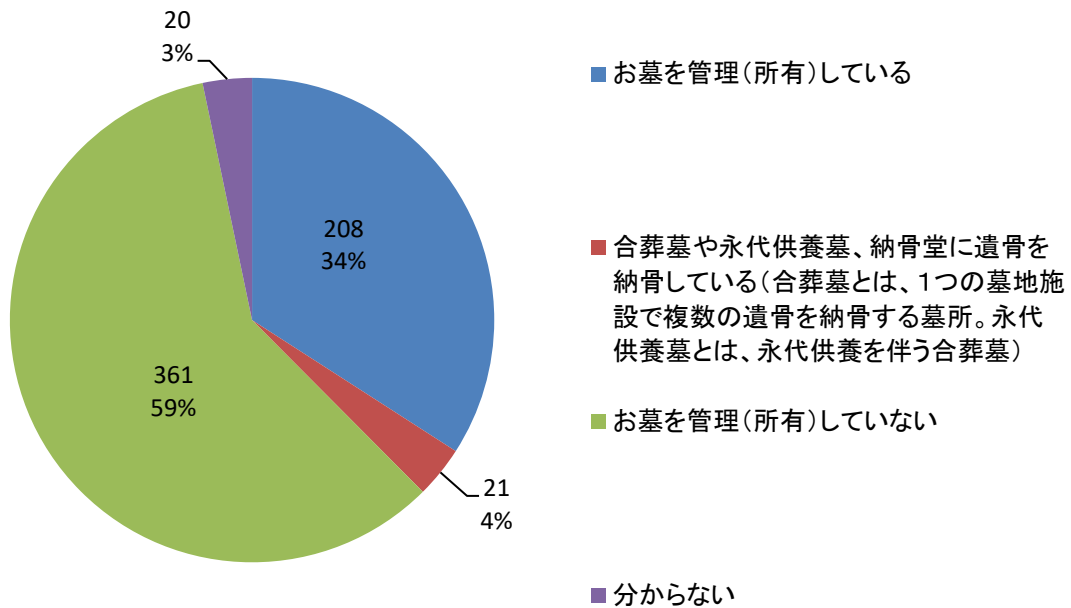
令和4年6月10日 ~
610人

令和8年6月17日

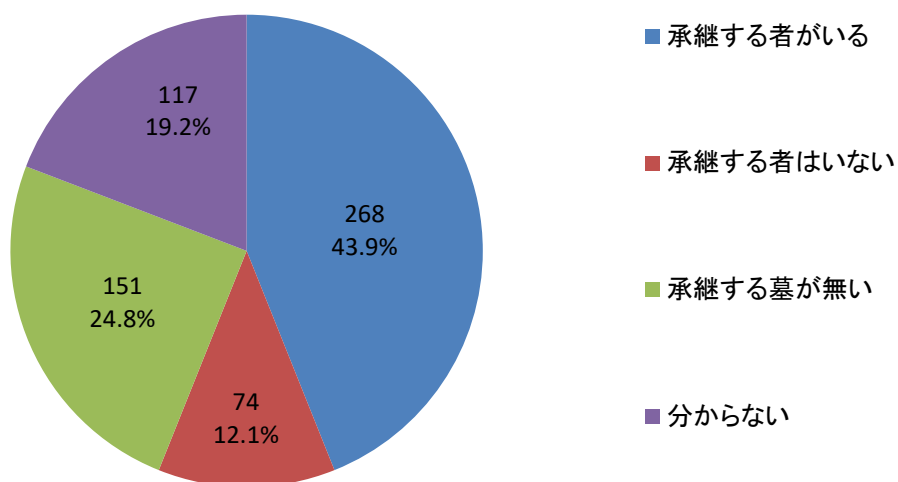
※単位は全て、円グラフは人（割合）、棒グラフは人



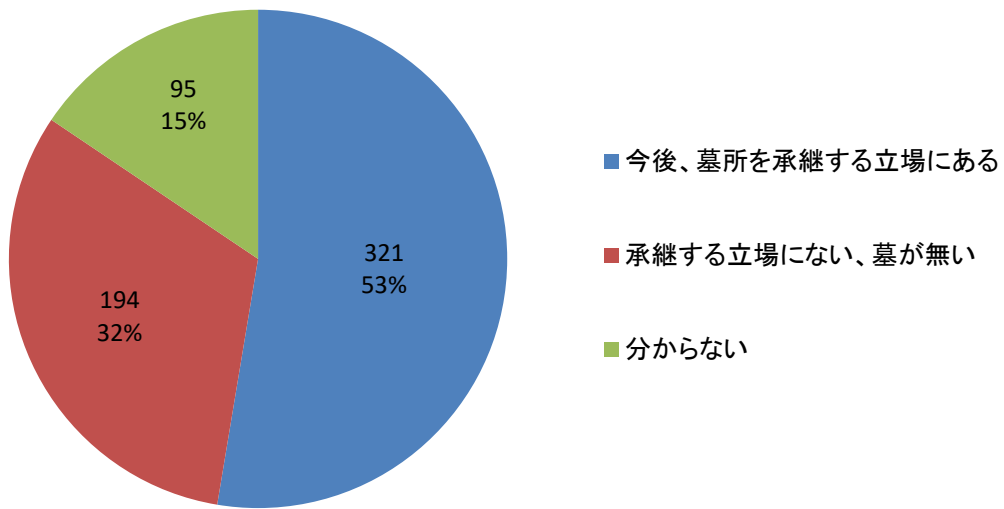
問2: あなたの世帯でお墓を管理(所有)していますか。



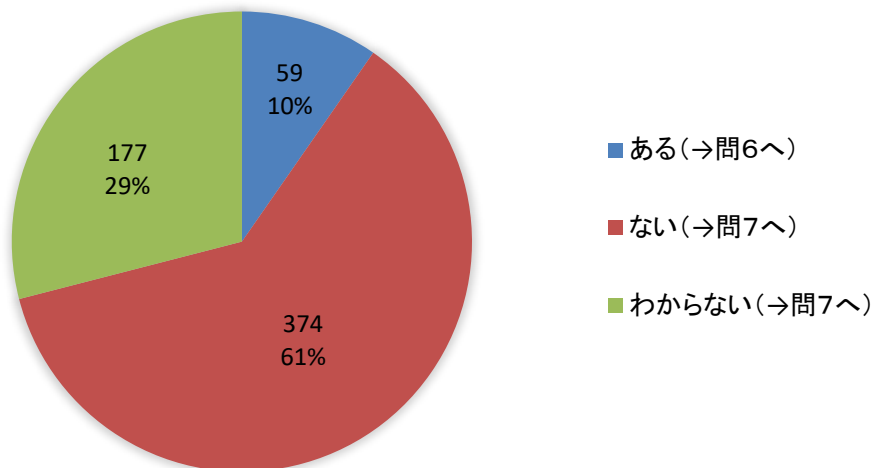
問3: お墓を承継される方(引き継ぐ方)はいらっしゃいますか。



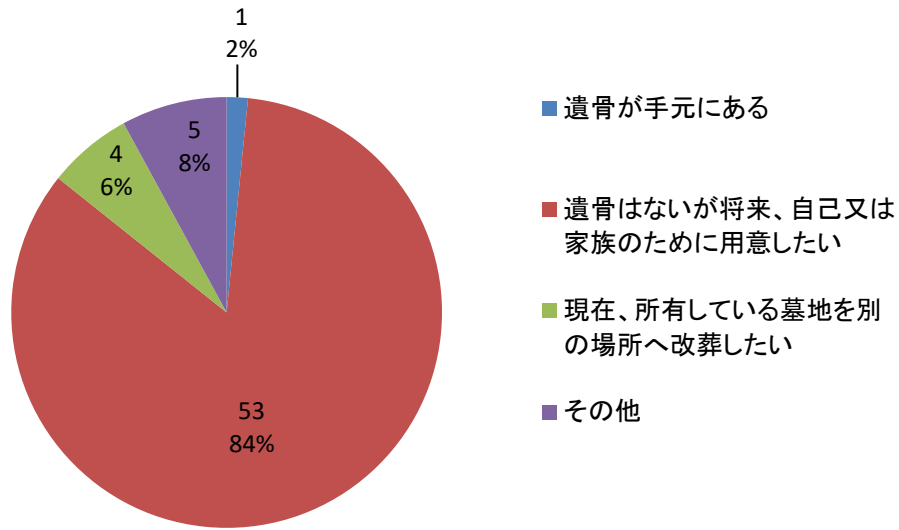
問4: お墓を承継される(引き継ぐ)立場にありますか。



問5: あなたの世帯では今後お墓を取得する必要がありますか。



問6: お墓の取得が必要な理由は何ですか。

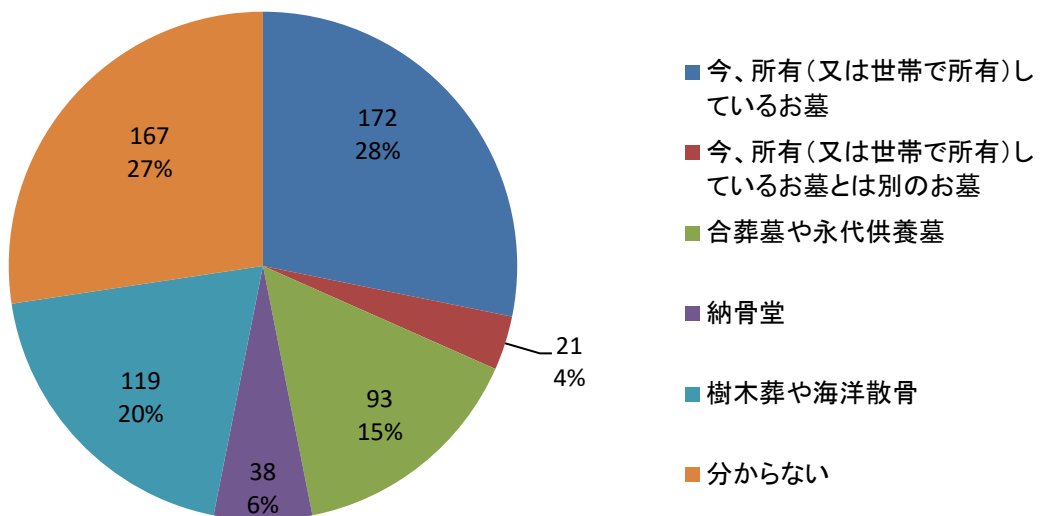


※問5で「ある」と回答した人にお聞きします。

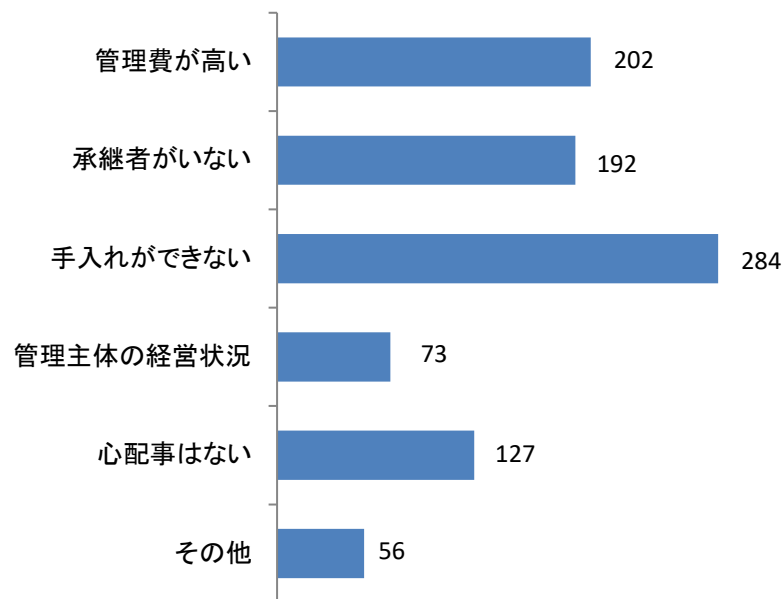
【その他意見】

- ・今は、まだ考えてない
- ・分家のため
- ・宗派の違い
- ・実家のお墓を誰が引き継ぐか、義兄弟関係とか将来にならないとわからない条件等、何も知らない
ので回答は難しい
- ・新家なので将来の自分達の納骨の為に購入した

問7: あなたが亡くなった場合に自身の遺骨の納骨先はどちらがいいですか。



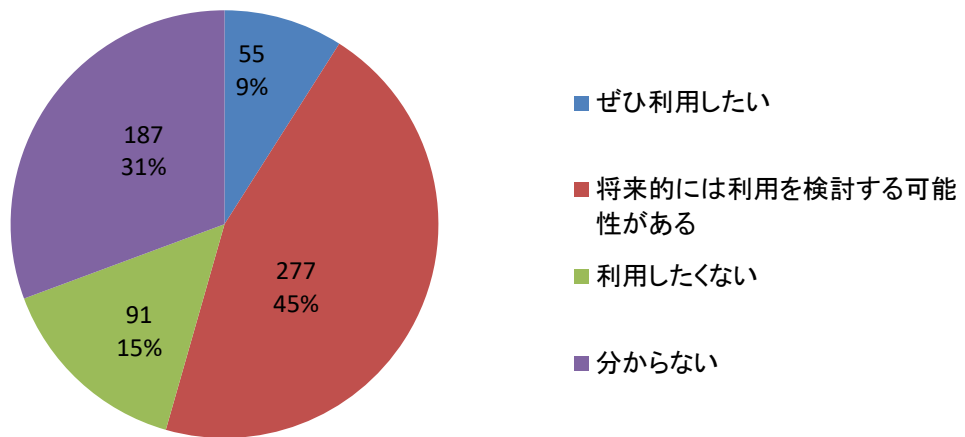
問8: 将来を含めお墓に関する心配事は何ですか。(複数回答)



【主なその他意見】

- ・ お墓が少し遠い(岐阜)ので後継者がどこまで面倒を見てくれるか心配。
- ・ 実家のお墓の承継者
- ・ お墓はない。子供に負担をかけたくない・管理できる人が遠方に行ってしまう可能性がある
- ・ 親族の墓とは別に未使用の墓(土台の石垣まで作成、墓石はまだない)を持っているが処分したい
- ・ 遠方にある親族の墓の管理。実家の墓の管理。自身の墓や子供への負担。墓終い、新たに墓を持つのか、また、その費用はなど心配が尽きない。相談窓口があると良い。
- ・ 管理できるかわからない、いずれ共同墓地などにしたい。
- ・ 継承者がいなくなった時どうなるのか
- ・ 管理費などお墓について何も知らないこと
- ・ 社会的にみたお墓の見方がどうなっていくのか不安
- ・ 今の墓地の場所や管理方法がが将来的、例えば30年以降にどうなっているか、どうすべきかを考えるにも市や町の情報がない。
- ・ 土葬問題について、安城では違憲であるのに間接的に外国人参政権を認めている市でもある為、今後土葬を許可する可能性があるというのがとても怖い。
- ・ 具体的に家族間でまだ話し合ったことがない
- ・ 子供たちに負担がかかるのではないかと心配

問9: 今後、市営霊園に合葬墓ができた場合に
利用を検討しますか。



問10：あなたの家族や親しい人が亡くなった際、どのような弔い方をしたいですか。意見をご記入ください。

一般的でよいが、家族葬など、あまり費用をかけずこじんまりとした形でよい。
家族については、葬儀を行い現在の墓に納骨したい。親しい人については、葬儀に参列しお見送りしたい。
家族だけで葬儀を行い、お骨はお寺か納骨堂などに納め、子孫に負担がかからないようにしたい。
葬儀場に出むいてお別れをしたいと思います。それが不可能な場合は香典やお供えを送り弔いたいです。家族の場合、葬儀の後は毎日遺影を拝みたいです。
従来、親が檀家となっているお寺で弔うというよりは、親しい人で集まり、形式に捉われないお別れ会ができれば十分だと思う。
コロナが収束しても以前の様な派手な葬儀ではなく、親族で家族葬でやってくれれば良い。
流行に左右されることなく、今まで通りの一般的なお墓での納骨を行いたいと思います。
昨今は、これまでのような多人数での葬儀等ではなく、小規模な葬儀等に定着しつつあることから、小規模な葬儀等（いわゆる家族葬）でよいと考えている。また、墓所を親から引き継ぎ所有しているため、今後、うまく承継できるように後継者に教示していきたいと考えている。
身内だけの家族葬がいいと思っています。弔問客が多いと、接客で手一杯になるので、故人との別れをしっかりとするためにも、小規模の葬儀がいいです。
簡素な家族葬。墓所は、公園に設けられた樹木葬。家族や親しい人が、公園に遊びにきたついでや、いつでも好きなときに訪れることができるようになるのが理想。
本人の意向を考慮したいが、自身としては継承者の負担にならない方法を選択したい。
亡くなった方に生前希望を聞いていることがベストです。私も生前にどうしてほしいのか、書き残すなりしておきたいと思います。そのためにも、どういう選択肢があるのか知っておきたいです。残された家族にお墓の管理をしてもらうのではなく、無理のない形で納骨できる方法があるといいなと思います。
その人の生前の希望を聞いておいて、希望通りにしたいと思います。近親者のお墓管理の大変さを目の当たりにしているため、自分の子供に大変な思いはさせたくないで、できればお墓を所有することは避けたいと思います。
月に一回はお墓参りをするようにしている。(お墓が近いから出来る)亡くなった祖母からいくつかあるお墓に誰が入っているのか幼い頃に説明されていたが、いざ、自分の子供に質問された時に、“これはひーおじいちゃんの兄弟だったかなあ？これは戦争で亡くなった方だったかなあ？”とちゃんと答えることができず、ご先祖様のお墓と総称してしまいました。市営霊園ができれば、お墓の管理や維持や後継者がいない等の問題点は解消されるが、身近にお墓がないとお参りすることから遠くなるので、近くにあるということが大切だと思う。お墓が多過ぎるし、綺麗に並んで無いから転びそうになるし、今の時代に合わせるなら、立派な市営霊園があれば、色々な問題が解消されるし、今後の子供たちに選択肢が広がるのは良いと思う。
今のところ私に希望はないので、元気なうちに家族本人の希望を聞いて話し合っておきたいです。
その人がなくなったらその人の意向に沿うが、親には今ある祖父たちの墓を墓じまいし、親が失くなくなったら散骨などする予定だと伝えている。
親族の中には樹木葬や海洋散骨を希望しているものもいる。昨今は多種多様な様式があってもよいのではと思う。あくまでも型式にとらわれない個人の希望でよいと思う。
古くからのルールやしきたりにとらわれず、なるべく故人の意向に添いたい。
お墓は高額だし管理が大変なので、やめた方がいいと親は言っている。後に残された人たちが一番楽で良いと思う方法とされているので、その時になったら家族で相談したい。

今回、合葬墓という言葉を知りましたが、それらも含め、時代と共に変化していくものだなと思っています。私の両親が「娘達に迷惑をかけぬよう、自分達のお墓は自分達で用意しよう」と（良かれと思って）実家近くにある墓地の土地の1ヶ所を確保してあります。しかし、両親に万が一のことがあった後、今後その場所でお墓を建て、管理し、もしかしたら月々の場所代...（？）を、私たち姉妹で永遠にやっていかなければならないのかと思うと、本人達には言えないのですが、正直、ちょっと考え直してもらえないかなと思っています。お墓について全く詳しくないのですが、永代供養墓、納骨堂、そして合葬墓、または仏壇ではなく最近流行りのおしゃれな感じで自宅で骨壺を保管するなどの方法で、デデーン！と立派なお墓を建てるのではなく、管理する手間や管理費がコンパクトな方向にできたら良いのにな、と思っています。

吊る気持の大きさは墓の所有に関係ないので、後々手入れが難しくなる墓の所有ではなく合葬墓の方が好ましい。

お墓でなくても良いので、誰でもお参りが出来、管理をしてもらえるお墓に代わるものがあると思う。

室内のビル型とか手入れが要らない管理費用だけのものもいい。

墓守りは大変で維持するのも大変ですが合同墓も嫌です。うちはお寺の納骨堂に納骨しています。墓の周りの草取りは不要、墓石の磨きも不要、お寺の納骨堂はセキュリティもすごく、入るときにお金を払って納骨するところを確保し、後は月5000円の管理費で済みます。お経も毎日あげてもらえるので墓はいりません。市の経営でと言うならこれからは納骨堂の時代だと思います。管理する子供、管理される親、どちらの負担も墓より軽いです。管理費を払われなくなったら合同墓に移動というシステムです。時代に合ったものを市にもやってもらえると嬉しいです

我が家を含めて、これからは墓があっても承継者がいないという家が増加していくので、墓は必要ない。市営霊園に合葬墓ができれば、そこに納骨したいと思う。私自身が死んだ時にも、そこに納骨してほしい。

親がお墓をもっているが、私の世代ではお墓を持つという概念がない。そのため、管理維持を負担とを感じる。いっそのこと、今のお墓を合葬墓にうつして管理費を安くしたい。

先祖代々の墓の予定だが、現在ある墓が遠方にあるため、合葬墓も検討したい。

できれば簡単な葬儀をして一日で全てを終わらせたいです（ネットでそういう方の記事を読みました）お墓の事をアンケートに取り上げてくださった担当の方、ナイスです！本当に今、真剣に悩んでいる最中なのです。うちの町内のお寺、土地はあるけどお墓として用意されてないのです。今後子供達が遠方に行った場合などを考えると合同墓が望ましいのですが、それもあります。市で用意してくだされれば、本気で入りたいです。個人墓などもあります結局場所だけ取って後は誰もみませんよね…だったら合同の方がいいです。本当に切実な問題なので是非検討して欲しいです。もしくは市から各町内のお寺に合同墓を作ることを働きかけて欲しいです。何卒よろしくお願い致します。

家族は合葬墓を希望しているので希望通りにしてあげたい

現在、市営霊園にお墓がありますが、嫁の立場として、義理父母と同じお墓に入りたくないです。夫も私も、家族だけのお別れだけで良いと考えています。いずれは、墓じまいをして、子世代への負担を軽くしたいと考えています。お墓は無くても、霊園に合葬墓ができれば利用したいですね

父母は、今あるお墓に入ると思うが、将来的に管理が大変なら合葬が良いと思う。草取りや管理も大変ですし、お墓に子供を、縛りたくもないので。

本人の生前の意向に沿った葬儀等が、出来れば幸いです。基本は、家族葬で弔い香典辞退で、節目節目で親近者が集まり故人の思い出話ができれば、ハッピーです。安城市で、合葬墓が出来れば是非利用したいと考えます。

安価な葬儀（家族葬）が良いと考えている。葬儀・合葬墓について安城市民が割安に利用できる制度が確立されると年金生活者は非常に助かります。

子どもたちには、お墓は作らず永代供養するように伝えてあります。ただ、先祖を敬う気持ちを失わずにいてほしいと思います。

後を継ぐ人がいないので、永代供養とかで良いです。

子供の世代以降にお墓を継承するというのは管理や費用の負担が増えるので、新たにお墓を建てようとは思いません。今のところは永代供養墓を利用することを検討するかと思います。

合葬墓地ができて無宗教すぎるデザインでは入れる気がおこらない。また過度に公園化等公共性を全面に出すのもあまり気分のいいものではない。

骨を残すと後々の子供たちに責任を負わせ負担となるため、私の代から墓は作らない方針。市の合同墓もいいが、そこに入れるとお参りに行く必要がある。それらをふまえ、散骨にしたいと思っている。
お参りする場所は欲しいが、管理が大変なら無くてもよい。
しっかりとお見送りはしたいが、継続的にお墓の管理は難しいと思う。特に義実家のお墓は車でしか行けないような場所にあり、家族の誰かが運転できるうちがいいが、運転できなくなったら、考えないといけないと思っている。
お墓に埋葬して定期的にお参りしたい
市営安城霊園にお墓もあるので、そこに埋葬し丁寧に見送ってあげたい。
お墓があると、管理は大変だが弔いはしやすいと思う。
今あるお墓に納骨します。
合葬墓には入れたくない。やはり親族のお墓に納骨したい。
お墓が遠いと色々大変なので近くでいつでも行ける場所にあればと思う。
家族の場合はできるだけ近くに遺骨をおきたい。
世間体が許すのなら手元供養がしたいです。今でも寺院にはなじみがなく、本音では世間体のためだけにお墓参りしている状況で、家族が亡くなった時にそのような心理的に遠い場所に収めることには寂しさを感じるため。
高いお金を出してその後もずっとわざわざお墓参りに行くなら自宅で仏壇を買ってそこに骨を保管すれば良いと思ってしまう。
初めて親しい人を亡くした際に、葬儀や納骨などの儀式をすることで、少しずつ受け止める事が出来た気がします。きちんと弔う事は、故人と周りの人々にとって大切なことと感じました。
コロナ禍で家族や兄弟が亡くなくても通夜、葬儀に参加出来なかったと聞きとても悲しくなりました。故人が安心して旅立てるようになるべくみんなが集まって見送りたいと心から思います。
よくわからないがきちんとしてあげたいと思う。家族は散骨してくれというがこちらとしてはきちんと葬ってあげたい。
土に返りたい。樹木葬 土になり、葉っぱになり桜の木の周りに納骨されたいと思います。
いつでもお参りに行けるような分かりやすいところか、自分が年老いてライフステージが変わっても、出掛けるときに家族と気軽に一緒に寄れるような場所に埋葬してあげたい。偲んだり思い出すことができるのなら、お墓という形にとらわれる必要はない
都市部にあるような自動搬送式納骨堂や、ロッカー式納骨堂が市内にあれば利用したいなと思う。将来、墓を継承する人が途絶える可能性もあるため永代供養なども契約できれば尚いいなと思う。
お墓に行くのは大変なので納骨堂のような建物内やネットでお参りできたほうが手軽で良いと思う
本来ならば、きちんとお墓を建立して、代々引き継ぐべきと考えますが、少子高齢化が進む中、厳しい現実です。 立体駐車場のような合葬墓で、いつでもボタンを押せば関係者の位牌や遺影等が出て来て故人が偲べれば良いと思います。また、樹木葬や散骨葬を広く認めて多様な弔いができると良いと思います。
市営霊園は自宅から車がないと不便な場所なので、できれば自宅から近い納骨堂に弔いたい
お寺で、面倒見てもらえるような仕組みがあるといい。お墓を立てると、継承や、管理が大変なので、先祖代々というように、まとめて管理してもらえるとありがたい。
海に散骨でもいいかなと思う
両親からは、お墓ではなく、納骨堂のような管理の必要ないところに納骨してくれたらいいと言われています。
その方の信仰にそった弔いをしたい。キリスト、仏教などで対応が変わって来ると思います。
信仰している所にお任せしたい。
家族や親族であれば嫁ぎ先のやり方に従う。
規模はその時々に合わせてとして家族の場合は葬儀、墓地へ納骨を考えている。親しい人の場合、葬儀があれば弔問する予定。

共同墓地などはあまり多くないので遠方になってしまいそうだと思います。ですのであまり積極的に選択肢に入れないと思います。遠いと自然と足が遠のいてしまうので管理が杜撰になってしまいそうで、お墓は自分の家からできるだけ近い所であって欲しいです。
残された家族が思うようにしてもらえたらいいと思う。
学生の頃に祖父母が亡くなった際は親族が集まってお通夜とお葬式、火葬をしたので両親の時も同じ様に行いたいと思っていました。しかし、今回のアンケートを行って、誰が手続きを行うのかや今後のお墓の管理費用などを考えると嫁いだ身としては実の両親よりも義父母の事を主人と話さなくてはと考えさせられました。
実家の田舎では地域のつながりが強すぎて自分が思うような質素葬儀ができない。
私は夫とお互い墓はいらないと話し合っている。遺骨ジュエリー等にしなければして、残りは散骨してほしい。と子供にも話してる。ついでに、お葬式もやってもわらなくていいと話してる。お金の無駄。自宅や会館等でお坊さんとか呼ばずにお別れ会のみして、お世話になった親しい人に感謝の気持ちとしてお金を包んで渡してほしい。
お墓は管理が大変なので、遺灰をダイヤモンドにするサービスを利用したいです。その方がお墓参りをするよりも故人を身近に感じられると思うので。
葬儀屋さんのパックじゃなくて質を追求した葬儀にしたい（祭壇ではなく花に囲まれたのとか）
母親は、母親の実の両親のお墓へ、父親は、父親の実の両親のお墓へ。自分と主人は、大好きな海へ撒いてほしい。我が子が先に旅立ってしまったら、家から手放せないかもしれない。
本人の意向を事前に確認できれば、形式にこだわらず、本人の意向に沿った弔い方をしたいと考えます。新聞等でも、本人の意向や実際に墓守を担う家族と、「先祖代々」を重んじる親類との間で軋轢が生じる事例をよく見聞します。価値観や家族観、家族の在り方が多様化する中、弔い方や墓の在り方も選択肢が色々あってよいはずですが、「今まで続けてきたことを自分の代で変える」ことをためらう、抵抗を感じる人が多いように思えます。少子高齢化の進行やライフスタイルの変化により、葬儀や墓守にコストをかけることは、今後ますます難しくなる。本アンケートの選択肢にもあるように、散骨や納骨堂、永代供養等「先祖代々の墓以外」のニーズは、増えることはあっても減ることはまず無い。大事なことは、本人や家族が納得出来る弔い方や墓を選べること。その話し合いが出来る風土を社会全体的に、いかに醸成していくかにあると考えます。弔い方や墓の在り方・入り方は、人生・生き様の延長線上にある。安城市のHPの中に「わたしノート」がありますね。これ、大変良い取り組み事例だと思います。自分の希望を「見える化」することが、自分の在りたい最期やその後を決める、第1歩になる。家族や親類、自分自身に「こうありたい」をはっきり示すことで、先祖代々以外の選択肢が広がる突破口になれば良いですね。
葬儀はしたくない。
日常生活の中で想うこと。日が差し込んでエネルギー溢れるところに手をあわせることができる象徴（モニュメント）みたいなところがあるのも素敵だなと思います。
自分達の代で墓じまいする事になると思います
お墓を持つ予定はない
無縁仏になる可能性が高い。これからの時代、そのような件数は増加すると考える。
一般的にみなさんがどのようにしているのすらよくかわからないので、いろんなモデルを知りたいと思います。
時代と共に弔い方が変わっており悩んでいる。家族葬が一般的になった今、どのようにしたいかと問われても回答に困ってしまう。息子は県外で生活しており墓の管理について尋ねたことがあったが「俺は知らないよ」などと言っている。強制することではないと思っているが、むなしさは残る。なんとなく、昔の日本の良き制度が崩壊というか、日本人のやさしさや思いやりが消えてしまい残念に思います。
分からない
将来的に考える。
今のところ、現実的な問題ではないので、誰を連想して考えて良いのかわからないので、特に考えられない。